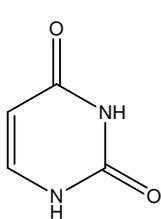
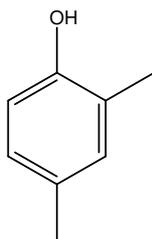


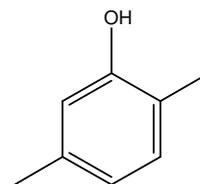
キシレノール（ジメチルフェノール）は、フェノール類の一種でフェノールに2個のメチル基が置換した構造を持つ毒物です。ここでは、CAPCELL PAK ADME-HR S5 (4.6 mm i.d. x 150 mm) と C<sub>18</sub> カラム及び PFP カラムを用いてキシレノール2種を分析した例を示します。C<sub>18</sub> カラムでは異性体を分離できませんが、PFP カラムと ADME カラムでは異性体の分離を達成しています。また、PFP カラムと ADME カラムとでは溶出順序が逆転していることから、異なる相互作用が分離に寄与していることを示唆しています。



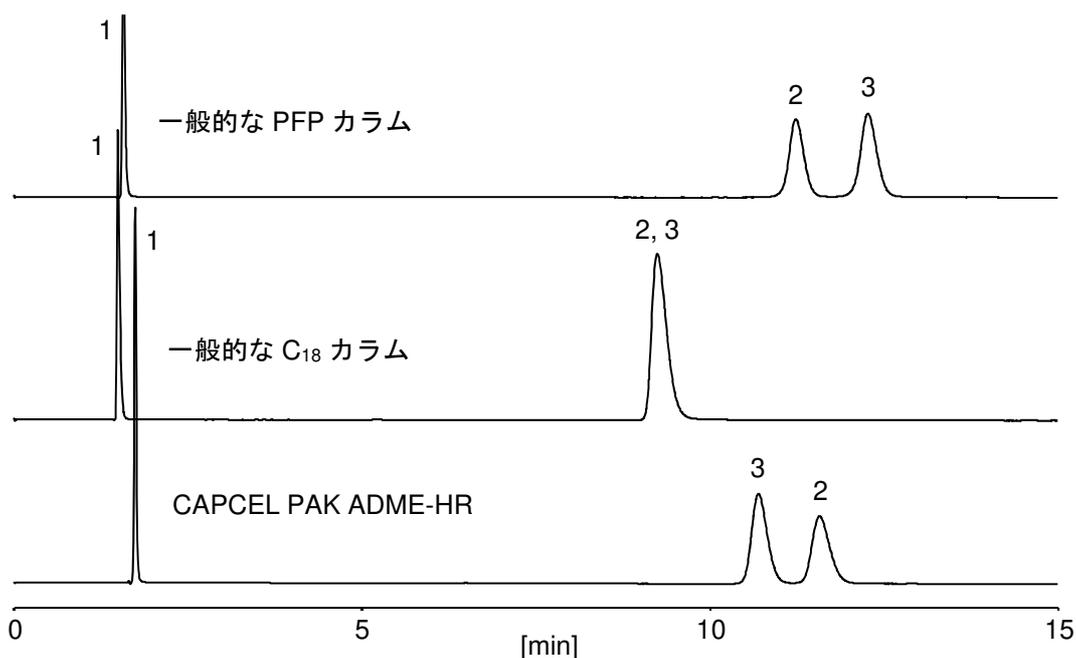
1. ウラシル (20 µg/mL)  
Uracil (M.W. 112.1)



2. 2,4-ジメチルフェノール (100 µg/mL)  
2,4-Dimethylphenol (M.W. 122.2)



3. 2,5-ジメチルフェノール (100 µg/mL)  
2,5-Dimethylphenol (M.W. 122.2)



#### 【HPLC Conditions】

Column size	: S5 ; 4.6 mm i.d. x 150 mm
Mobile phase	: H <sub>2</sub> O / CH <sub>3</sub> OH = 50 / 50
Flow rate	: 1 mL/min
Temperature	: 35 °C
Detection	: UV 254 nm
Inj. Vol.	: 7 µL
Sample dissolved in	: CH <sub>3</sub> OH

※ 1 µg/mL = 1 ppm